



北斗句会

令和四年四月定例会（六日） 兼題 「山」「鳥」

五十音順 特選 石田きよし選

侍 大社正中ずんずんと若緑 大崎石州

蘇る戦下の別れ鳥雲に 大森康正

侍 妻の髪手櫛で梳くや春の宵 竹内雲泉

山笑ふ新調したる杖と靴 田中資凡

侍 白波の逸る黒潮鳥雲に 長池豆陽

柴又は花の昼なり啖呵売 藤田紀潮

四周には菜の花飾る吾妻山 宮下ひかる

ゴルファーのミニスカートや山笑ふ 森田光彦

たんぼぼや建売の庭一面に 山縣秀雄

富士を背に囀り競ふ揚雲雀 吉岡誠山



耕して逝くべきときを延ばしけり 石田きよし